

2009年1月30日

mail ニュース

25・通巻214号

# 自治労連 都庁職

自治労連都庁職員  
労働組合

発行人 米山隆史  
TEL 03-5381-0250

## 自治労連中央委員会開かれる

自治労連の第38回中央委員会が1月29、30日の両日、千葉県千葉市で開催されました。この会議は、「2009年国民春闘方針(案)」を始めとした九つの議案について討議し、決定するために開かれたものです。

若井中央執行委員長代行が挨拶を行った後、開催地の千葉労連議長が来賓として挨拶しました。新規加入組合の承認の後、野村書記長が「一般経過報告」、「第1号議案 2009年国民春闘方針(案)」、「第2号議案 08秋季年末闘争の到達点と課題について(案)」について報告・提案を行いました。続いて、「第5号議案 自治労連共済 支部支所運営要綱・各事業細則の一部改正について(案)」、「上期会計報告・会計監査」について報告・提案されました。

質疑・討論では、29人の中央委員が発言しました。いずれも本部提案を支持し、これを補足・強化するものでした。特徴的だったのは、年末年始にかけて、日比谷公園で取り組まれた派遣村のことが全国の仲間にも注目され、この運動に触発され、あるいは呼応し、各地で派遣村の取り組みが行われたり、住民生活の第一線で働く自治体労働者の強みを活かし、生活相談を行ったという発言が相次いだことです。

東京自治労連からは4人が発言しました。最初に首都圏青年ユニオンの山田書記次長が、広範な団体の協力で成功した年越し派遣村の取り組みについて、「村民500人、画期的な取り組みだ。予定している反貧困フェスタの成功に向けて頑張る」と発言しました。

自治労連青年部長である松山さんは、自治労連結成20周年を記念して取り組んでいる沖縄プロジェクト(おきプロ)の取り組みについて、カラーのパンフレットを用いながら報告し、全国の仲間の支援を要請しました。

椎橋中央執行委員は、国が進める公的保育解体攻撃について、社会保障審議会の動向を中心に詳細に報告。特にこの攻撃の中で、石原都政が進める認証保育所問題が極めて悪質な役割を果たしていることを強調しました。

自治労連都庁職の森田委員長は、作成した春闘リーフレットを示しながら、石原都政の最近の動向と都議会議員選挙に向けた取り組みについて、以下の通り発言しました。

石原都政は「小泉構造改革」の始まる2年も前から『都政版構造改革』を強行してきた。都立病院の改悪については、全病院で「守る会」がつくられるなどの運動の広がりに加えて当局の矛盾もあり、

「5年間の検討期間」と言わざるを得なくなりました。一方で、「福祉保健局所管の老人総合研究所」、「老人医療センター」については廃止し、新たに地方独立行政法人「健康長寿医療センター」を設立することを推し進めています。

同時に、三つの無駄遣いを進めています。第一に新銀行東京です。1400億円の無駄遣いに加えて、国・都の議員の口利き発覚、行員の不正融資による逮捕と不祥事も相次いでいます。ところが、金融庁に提出した改善計画書では都の責任に触れず、私たちが要求する貸しはがし・貸し渋り対策についても言及していません。

第二に、豊洲への中央卸売市場の移転です。土壌汚染が発覚し、汚染対策で1000億円、移転費用は5000億円にも上ることが明らかとなりました。年明けに汚染対策は586億円で済むという報道がセンセーショナルに行われましたが、これは対策案の公募に応募した企業221社の都合のよいところだけを集めたもので、工法が確立されたものではありません。また、1月26日にはベンゾピレンという発ガン物質が公表値の115倍もあることを隠蔽していたことが発覚しました。

第三がオリンピック招致問題です。総額10兆円もかかるのに、「世界一コンパクトなオリンピック」と宣伝していますが、都民の盛り上がりがないので、10月のI O C総会に向けてオリンピック・メダリストなども総動員してなりふりかまわぬ宣伝作戦を行っています。こうした失政が続く石原都政を、作家の佐野真一氏は「『太陽の季節』から『落陽の季節』へ」と評しました。都政を投げ出す可能性あり、とも書いていますが、その実現に向けて、絶好のチャンスである都議会議員選挙で、政治的中立に陥らず、要求実現の立場で取り組みます。現在、都予算批判パンフを準備し、その後、パンフレット「これでいいのか石原都政」(仮称)を作成、5月16日には「自治体構造改革反対交流集会」を開催するなど、都議会議員選挙に向けて取り組みを強化することを表明します。

質疑・討論の後、野村書記長より総括答弁が行われ、すべての議案が採択されました。

また、名古屋市長選挙・千葉県知事選挙の特別決議、春闘闘争宣言を採択し、中央委員会は閉会しました。